

6月臨時会
6月定例会

新型コロナ対策一総額868億円の補正予算

検査・医療体制の強化、経済支援で前進

9つの二次医療圏ごとに発熱外来を設置 県独自に事業者へ家賃補助、県民の宿泊に助成



達増知事(左から3人目)に新型コロナ対策に関する第三次の申し入れを行う県委員会と県議団(6月1日)

新型コロナウイルス対策のための臨時県議会が4月・6月に開催され、それぞれ513億円(第二次)、245億円(第三次)の補正予算を採択。三次にわたる補正予算総額は868億円となっています。臨時会では、斉藤県議が補正予算に対する質疑に立ち、各常任委員会でも積極的に取り上げました。

県議団は、達増知事に第二次・第三次の申し入れを行うとともに、医療関係者や商工団体、観光業者、労働組合・民主団体の皆さんと懇談し、実態と課題について調査しました。

検査体制、医療体制を強化 県立病院は11・8億円の減収

検査体制では、両警・宮古胆江・釜石・盛岡の各圏域に発熱外来(地域外来・検査センター)が

設置され、北上・花巻・気仙・久慈・二戸圏域にも7月中旬に設置される見込みとなりました。県のPCR検査は1日80件まで可能となり、保健所にはOBの保健師が配置されています。いわて感染症制御支援チーム(ICAT)が院内感染防止対策などの支援を行っています。

医療体制は、感染者受け入れ病床を93床(重症30床含む)確保し、166床の確保をめざしています。ピーク時には350床の確保をめざします。軽症者の宿泊施設は、盛岡市内に85室確保、感染拡大した場合に300室を確保します。

受診抑制や新型コロナ対応により、県立病院では11億8千万円(4〜5月)の大幅な減収となっています。民間医療機関でも、医科で83%、歯科で58%が前年同月比で減収(県保険医協会調査)となっており、感染の第二波に備える上でも医療機関の減収に対する補てん支援は緊急の課題です。



臨時県議会で質疑に立つ斉藤県議(6月11日)

事業者に最大30万円の家賃補助 県独自に1泊2千円のクーポン

県の新型コロナに伴う事業者の影響調査(5月調査)では「すでに影響が出ている」が82%、「今後影響が出る可能性がある」が12%と94%を超える事業者が影響を受ける実態となっています。「41%以上の売り上げ減少」が34%にのぼり、宿泊業では95%

、飲食業で69%、運輸業64%と深刻な実態となっています。県の家賃補助(2分の1補助、月上限10万円、3ヶ月分は、条件が「3ヶ月の売上減少30%以上」に緩和され、対象事業者が5千から9千に拡大されました。また感染症対策の設備の改修・備品の購入等に1店舗当たり10万円を補助します。

農林漁業者への支援

農林漁業者への支援では、国の持続化給付金や経営継続補助金の活用に加え、県事業としては、肥育農家が和牛子牛市場から肥育素牛を導入する場合、1頭当たり1万円の補助を実施。県産食材の消費拡大では、学校給食への牛肉とホタテの活用が盛り込まれました。

から2千円に増額、県単独で1泊2千円の宿泊クーポンを発行するなど拡充されました。また、経営継続支援金百万円、感染症対策の設備に上限2百万円(経費の3分の2)、観光バス運行支援事業費補助3億円などが盛り込まれました。

被災者の医療費免除継続を求める請願を採択 消費税を5%に引き下げを求める請願は不採択に

7月6日、6月県議会最終本会議で、県保険医協会や復興県民会議などが提出した「被災者の医療費・介護保険利用料等の免除継続を求める」請願と意見書が賛成多数で採択されました(自民党と公明党、無所属の一部議員が反対)。



関根議長に請願を提出する県保険医協会の皆さんと同席する斉藤県議(6月29日)

免除措置は今年12月までとなっており、10年目以降の免除継続に向けて重要な一歩になりました。県保険医協会が行った被災者のアンケートでは、来年から医療費の窓口負担が発生した場合「通院に支障が出る」と答えた人が6割に達し、「新型コロナの影響で収入が減り、医療費免除で本当に助かっている」などの切実な声が多数寄せられています。

岩手医労連が提出した「医療崩壊を防ぐために医師・看護師の増員を求める」請願と意見書も賛成多数で採択されました(自民党と公明党が反対)。

岩商連などが提出した「緊急経済対策として消費税率を5%に引き下げること」を求める請願は

県民と心ひとつに
日本共産党
斉藤 信の
県政報告

2020年7月 No. 170

発行: 日本共産党岩手県議団事務局

斉藤信事務所 TEL. 019(651)1241
〒020-0015 盛岡市本町通2-10-6

日本共産党控室 TEL. 019(629)6050
〒020-0023 盛岡市内丸10-1

斉藤信のホームページ

<http://www.saito-shin.sakura.ne.jp/>

4野党合同街頭演説を開催



6月20日、盛岡駅前では県内4野党による合同街頭演説を開催。国民民主党の木戸口英司・横沢高徳両参院議員(野党統一)、立憲民主党の中村起子県連合幹事長、社民党の小西和子県議、日本共産党からは齊藤県議が訴えました。6月6日には合同リレートークも開催しました。

いわて子どもプラン(2020~2024)を採択

子ども・子育て支援に関する基本的な計画として「いわて子どもプラン(2020~2024)」最終案が審議され全会一致で採択されました。また、個別計画となる「岩手県子どものしあわせ応援計画(2020~2024)案」(岩手県子どもの貧困対策推進計画)、「岩手県ひとり親家庭等自立促進計画(2020~2024)案」も示されました。

子ども生活実態調査結果を踏まえて、子どもの教育支援の取り組みと指標の問題、ひとり親家庭・就学援助世帯等への経済的支援制度の周知、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の全市町村でのすみやかな設置を求めました。

子どもや教職員の命と健康を守る対策を

新型コロナ感染から



佐藤教育長に「子どもや教職員の命と健康を守り豊かな学びの保障を求める」申し入れ(6月9日)

最も切実な課題は、教室における身体的距離の確保、子どもたちによきとどいた教育を進めることです。20人規模の学級を実現することが急務の課題だと日本教育学会の提言を示し指摘しました。7月3日に全国知事会・市長会・町村会が連名で「少人数学級の実現を求める緊急提言」を行ったことは極めて重要です。

学校における新型コロナ対策は、学習指導員54人、スクールサポートスタッフは全校に533人の増員配置が予算化されましたが、学習指導員は8人(7月中旬に12人)、スクールサポートスタッフは25人(同145人の配置にとまっています)。



文教委員会で質疑に立つ齊藤県議(7月2日)

最も切実な課題は、教室における身体的距離の確保、子どもたちによきとどいた教育を進めることです。20人規模の学級を実現することが急務の課題だと日本教育学会の提言を示し指摘しました。7月3日に全国知事会・市長会・町村会が連名で「少人数学級の実現を求める緊急提言」を行ったことは極めて重要です。

全国知事会も提言—今こそ20規模学級の実現を働き方改革—教員の時間外勤務の実態などを質す

教員の働き方改革にかかわる議案が提出され、教員の時間外勤務の実態を質しました。昨年度の教員の時間外勤務は45時間以上が27.5%、80時間以上が8.8%と深刻な実態です。時間外勤務時間の上限を定めることは半歩前進ですが、罰則もなく、超過勤務手当の支給もないという根本的な欠陥があると厳しく指摘しました。



県商工会連合会を訪問し懇談(7月9日)

7月9日、高橋千鶴子衆院議員、岩淵友参院議員、ふなやま由

高橋衆院議員らと商工会連合会などを訪問

また、子ども生活実態調査結果を踏まえ、収入の中央値2分の1以下の子ども「授業の理解度」が71%にとまっている問題を指摘し、教育支援を求めました。就学支援では、スクールソーシャルワーカーの配置は県内21名で、「中学校区に1人配置」という文科省の方針を示し、大幅な増員配置を求めました。

美衆院比例東北ブロック予定候補が来県し、新型コロナ対策で熊谷泰樹県医療局長、県商工会連合会の皆さんと懇談しました。

熊谷医療局長は、コロナ対応の病床確保や手術の延期、紹介患者の減少、専門医不足等の課題を述べつつ、「感染対策を講じている医療機関は安心して受診できるという機運の醸成が必要。受診控えによって重症化してからは遅い」と強調しました。

県商工会連合会では熊谷敏弘専務理事らと懇談。6月の事業者実態調査では、9割の事業者が「すでに影響が出ている」「今後影響が出る可能性がある」と答えています。懇談では、「相談件数が急増しており、商工会への人的支援はありがたいが、1~2年の長期配置を」「持続化給付金の50%以上の減収」という条件が厳しく対象が狭い。2割減収でも大変で、このままでは倒産しかねない」との切実な声も寄せられました。

6月定例県議会に県民から提出された主な請願に対する盛岡選挙区選出議員の態度 (○:賛成 ×:反対)

案件	齊藤 信 日本共産党	小西和子 社民党	軽石義則 希望わて	吉田敬子 新公会	高橋但馬 新公会	米内紘正 自民党	高橋康介 自民党	小林正信 公明党	千葉絢子 県民クラブ	上原康樹 無所属
被災者の医療費・介護保険利用料等の免除継続を求める請願・意見書→採択	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
医療崩壊を防ぐために医師・看護師の増員を求める請願・意見書→採択	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める請願・意見書→採択	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
緊急経済対策として消費税率を5%に引き下げを求める請願→不採択	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○

無料法律相談

◇弁護士が相談に応じます◇
・8月12日(水)午後6時
・9月9日(水)午後6時
予約電話番号:651-5881

無料生活相談

毎週土曜 10時~12時
場所: 齊藤信事務所

- 4月 市議団と盛岡市立病院院長と懇談 川久保病院事務局長・総看護師長と懇談 船戸岩大特任助教と懇談、野原保健福祉部長と懇談、盛岡保健所長と懇談 全県地区議員団長会議
- 10日 県議会文教委員会
- 11日 地域医療確保特別委員会、県政調査会自治研講座「学校統合と高校再編」
- 12日 大船渡市議選応援
- 13日 県議会災害対策本部会議
- 18日 市議団とのびこ療育センター訪問懇談 岩大理工学部一祐会理事会議
- 22日 生活相談・県信用保証協会
- 23日 議運、議案説明会
- 24日 議運、臨時県議会
- 30日 議運、臨時県議会
- 1日 メーデースタート集会、県庁前スタンディング
- 3日 憲法記念日街頭宣伝、革新懇「アベ政治を許さない」リレートーク
- 12日 県料理業生活衛生同業組合訪問、県旅館ホテル同業組合事務局長と懇談
- 14日 県商工会連合会専務理事と懇談、市議団つなぎ温泉観光協会会長と懇談
- 19日 県議会災害対策本部会議、安倍改憲「1」タフな
- 20日 臨時議案、第4回野党共闘調整会議
- 22日 岩商連対県要請商工親北労働部長
- 23日 全県地方議員研修会
- 26日 川久保病院事務局長・総婦長と懇談
- 29日 大船渡調査一森下水産、ハローワーク大船渡、大船渡商工会議所
- 1日 達増知事に新型コロナ対策第三次申し入れ
- 3日 「アベ政治を許さない」リレートーク
- 6日 4野党合同リレートーク
- 8日 議運、議案説明会、盛岡広域振興局と懇談
- 11日 臨時議案「新型コロナ対策第三次補正議決」
- 15日 議運、議案説明会、第5回野党共闘調整会議
- 16日 平和行進代表が菊地副知事・関根県議会議長を表彰、県庁前スタンディング
- 19日 日本民主青年同盟岩手県委員会が県要請(佐々木さん)と振興部長
- 20日 4野党合同街頭演説(盛岡駅前)
- 23日 議運、6月県議会開会
- 24日 県議団が県立大学斉藤教授・桜准教授訪問、子どもの貧困問題で懇談
- 27日 岩手県平和委員会の総会
- 29日 1日 日本会議
- 2日 文教委員会
- 3日 「アベ政治を許さない」リレートーク
- 6日 最終本会議
- 9日 高橋千鶴子衆院議員、岩淵友参院議員、ふなやま由美が県医療局長、県商工会連合会を訪問、調査、国政報告、国政への要望を聞く会
- 10日 安倍9条改憲「1」岩手の会全体会
- 13日 第6回野党共闘調整会議
- 15日 日党創立98周年オンライン記念講演会

齊藤信のパワフル活動日誌